

学校長通信 No.19

プレゼンテーションについて（2 学期始業式式辞）

この夏休みの間、たくさんの先生方が中学生・保護者向けの学校説明会に出て、日根野高校のPRをしました。やっぱり、一人でも多くの人に日根野高校のことを理解してほしいし、たくさんの中学生に「日根野に行きたい。」と思ってほしいですもんね。ただ、本当に大事なことは上手に学校の宣伝をすることではなくて、君達生徒と先生が楽しくそして時に厳しく一所懸命に勉強や部活や学校行事に取り組んでいるということで、そこがちゃんとできていれば宣伝なんかなくてもみんなが認めてくれる。これが一番です。しかし、世の中そうもいきません。自分達はしっかりとやっているつもりでも、意外と世間は知らなかったり、興味がなかったりします。みんなも「日根野高校なにそれ。」と言われても「日根野高校ええなあ。」と言われてもそれはどっちでもいい、とは思わないですよ。そこで、今日の話は「他人に何かを伝える」ということについてです。一般に、この「他人に自分の事や考えを分かりやすく伝えること」をプレゼンテーションと言います。本当はコミュニケーションと言うのかもしれませんが、今日はプレゼンという事で進めることにします。

まず最初にプレゼンの方法ですが、これにはいろいろとあります。説明用のペーパーを渡して口頭で説明をしていく方法が一番の基本です。次に、模造紙に文字や絵を書いたり写真とか何とかを貼って、それを見せながら説明するという方法もあります。みんなも小学校の頃は、このパターンが多かったかもしれません。最近では、みんながやってるようにパソコンで資料を作成し、それを操作してプロジェクターに繋いでスクリーンに映すという方法が一般的です。パソコンでなくタブレット端末を使ってやるというパターンくらいまでは進化してきています。ただ、すべての基本は「文字や絵・写真・表を見せながら語っていく。」と言う点で、ここはまったく変わっていません。見せながら・・・の見せ方が変わっているだけです。ですから、プレゼン、プレゼンとってあんまり難しく考えなくていいと思います。聴いてくれている人の心に響くような説明ができるなら、それがグッド・プレゼンテーションということです。みんなの入試には直接関係ないかもしれないけど、就職する時には絶対試される能力だし、就職してからも必ず使うことになるスキルなので、パソコンやタブレットを使いながら練習していると思ってください。決してプロのプレゼンターのレベルをめざして授業をやっているわけではないので気楽に取り組みましょう。

まとめますと、プレゼンテーションはペーパー1枚だけでも成立します。どこでも誰でも実行可能です。はっきりとは意識していないかもしれませんが、みなさんは、既にいろんな授業の中で実践しています。そして、それだけで誰かの共感を得て納得を得ることも可能です。基本は、ここがしっかりとできることに尽きると思います。ただ、もっとビジュアルに強く訴え音声に被せることによって、より強烈な効果を生むことも覚えておいてください。私たちの目標は、自分の思いや考えを正確に他人に伝え共感を得ること。それができたときの感動と喜びをみなさんに体験してほしいと思っています。そして、学校から社会に出ていくときに「本当にプレゼン練習してて良かった。」と思ってくれると思います。

最後になりますが、明後日、日根野高校はオープンスクールをやります。500名の方が訪問してくれる予定で、これは過去最大の人数です。来てくれた人がみんな「日根野高校良かった。行きたいね。」と言ってくれるよう、生徒・先生全員でピカピカに掃除して万全の準備をしましょう。そして当日は、みんなが楽しんでくれるグッド・プレゼンテーションをやしましょう。よろしくお願いします。